

練二通信

No. 413

令和3年10月1日
練馬第二小学校
校長 濱中 一

目標の価値は自分が決める

校長 濱中 一

東京オリンピック・パラリンピックが終わって早くも一か月。コロナ禍での開催に賛否はありましたが、人生の全てをかけて臨むアスリートの姿には日本中が感銘を受けました。練二小の子供たちも、手形モニュメントに参加し、十秒の動画を撮影して、アスリートたちに応援エールを送りました。感染拡大により残念ながら高学年のパラリンピック観戦は中止となりましたが、夏休みから九月にかけてのアスリートの活躍に感動した子供たちも多かったことでしょう。

これまでの歴代オリンピックでも、開催期間中は日本中に映像があふれましたが、パラリンピックまでもがここまで多く中継されることはありませんでした。私自身、長年スポーツに関心をもってきましたが、初めてじっくり映像を目にするパラリンピック競技種目もありました。

試合開始前から終了までパラ競技中継を観戦する中で、ルールの詳細を知り、選手の横顔紹介を聞きながら卓越した技能にしばしば驚嘆しました。食いつの間にか障がいがある選手たちという視点は消え、中継が終わる頃には、どの競技のパラアスリートにも敬意を感じていました。これまで聞いてきた「障がいがあるかどうかは関係ない」という言葉が、改めて心にさざりました。パラスポーツという世界に自分の目指す道に価値を見出し、弛まぬ努力を重ね、世界の大舞台に立ったパラアスリートの美しい姿は、子供たちの心にもきつと届いたことでしょう。

十月二日のスポーツフェスティバルに向け、ご家族に立派な姿を見せるために、子供たちはそれぞれ目標をもつて取り組んでいます。運動することを存分に楽しむのが体育科の目的です。保護者の皆様には、ぜひご来校いただき、子供たちが生き生きと運動する輝く姿を存分ご覧ください。なお、地域の皆様は参観をご遠慮くださいますようお願い。ご理解ご協力をお願いいたします。

十一月二十七日(土)には、学芸的行事として『学習発表会』を行います。学習指導要領が改訂され、子供たちが学び身に付ける力が変わった今、新しい学力観に基づき、新しい形の発表会を行います。詳細は改めてお知らせいたします。

子供たちを守る視点から、当面の間、学校公開日や行事への保護者の皆様の参加は制限のある形となります。学校HPを毎日更新し、リアルタイムで学校の子供たちの様子をお伝えしていきます。どうぞご覧ください。

ご理解ご協力をお願いいたします。

九月の朝会・昼の会より

- コロナ制限でも、毎日を一所懸命に生きる。「換気」「マスク」「手洗い」「距離」。
- 九月一日は防災の日。なぜ防災の日なのか、防災で心掛けることは何か。担任の先生からしっかりと聞いて学ぼう。
- 二学期の目標、決めたら継続することが大切。今週からしっかりと続けよう。
- 練二小の子供としての誇りをもとう。登下校で帽子をきちんと被る。名札を身につける。地域の人に挨拶する。七十八年のよい伝統を守ろう。
- 旧暦の八月十五日である中秋の名月は、毎年十五夜お月様とは限らない。八月ぶりの満月の名月が、晴れて見ることができそうです。
- スポーツフェスティバル、目標をもって堂々と演技しよう。そして何よりも、運動を楽しみむことこそが大切。

十月の行事予定

- 1 (金) 都民の日(午前授業)
- 2 (土) スポーツフェスティバル
- 4 (月) 振替休業日
- 6 (水) 六時間授業(三年～六年)
- 7 (木) 歯科検診(全学年)
- 9 (土) 土曜授業(公開あり)
- 13 (水) 午前授業
- 14 (木) 読書週間始(～11月5日まで)
- 18 (月) 避難訓練
- 20 (水) 研究授業(二年)
- 27 (水) 六時間授業(三年～六年)

★今月の生活目標

・元氣よく運動しよう。

☆重点目標

- ・さそいあって遊ぶ
- ・薄着で遊ぶ

練二小読書週間について

学校図書担当

今年度、練二小では十月十四日から十一月五日まで読書週間を行います。子供たちに本を読む楽しさを味わってほしい、本を読む習慣を身につけさせたいというねらいのもと、朝の十五分読書、図書支援員の方によるブックトークを行います。この期間には、特別に先生方のおすすめ本を図書室に掲示します。お子さまが興味のある本との出会いがあるといいなと考えています。ここではその中から何冊か紹介します。

〈校長〉

「ちからたろう」

今江 祥智 作

おじいさんとおばあさんが大切に育てた力太郎が、武者修行先で化け物退治を引き受けます。型破りな展開に思わず笑ってしまう楽しいお話です。

〈低学年〉

「ともだちや」

内田凜太郎 作

キツネは友達やさんを始めることを思いつきました。一時間百円で友達になってあげるので。さて、どうなるでしょう。

「おおきな木がほしい」

佐藤さとる 作

「大きな大きな木がほしいな」かおるは、小屋を作って、パンケーキを焼いて、見はらし台を作ります。想像を広げるのが楽しいお話。
(一年担任)

〈中学年〉

「ドリトル先生 アフリカゆき」

ヒュー・ロフティング 作

動物のことばを話せる名医、ドリトル先生と動物たちの、ゆかいな冒険の航海のお話。
(三年担任)

「アナグラムで遊ぼう けんじのじけん」

ささきあり 作

「あおがさ」↓「あさがお」のように文字の順番入れかえることで、主人公のけんじが事件を解決していくお話。
(四年担任)

〈高学年〉

「ふたりはきょうも」

アーノルド・ローベル 作

仲良しのがまくんとかえるくんが、相談したり、考えたりしながら、仲を深めていく心温まるお話。
(五年担任)

「あらしのよるに」

木村裕一 作

嵐の夜に出会ったオオカミのガブとヤギのメイのどきどきするお話。シリーズで続編も出ています。
(六年担任)

〈専科〉

「にげてさがして」

ヨシタケ シンスケ 作

子供と一緒に大人にも読んでもらいたい絵本です。読み終わったあと、少しだけ心がるくなるはず！
(専科担当)

たくさん

本を読もう！

子供輝く@Tokyoの取り組み

生活指導担当

子供が自己の良さや可能性に気付く、自己肯定感を高めるためにエールウィークに日々取り組んでいます。

ここでいくつかの学級の取り組みを紹介します。帰りの会を使って、今日の友達の良かったところや、頑張ったところを皆の前で紹介します。自らの良さはなかなか自分から見つけるのは難しいものです。しかし、クラスの友達がそれに気づかせてくれるところにこの取り組みの良さがあります。また、体育の授業では、現在スポーツフェスティバルの練習に日々励んでいます。その中で、異学級同士で練習の成果を見合、良さを、頑張りを発表する取り組みもありました。隣の学級の友達の良さを認め合い自信を持ちました。

さらに、音楽の授業では、タブレット端末を使って、つくったリズムを紹介し、よさを伝え合いました。発表後は「自分では気づかなかったよさを教えてもらいました」という感想も聞こえてきました。



配布されている電子機器についてのご案内

情報推進担当

六月に一年生へタブレット端末が配布され、本校も一人一台のタブレット端末が完備されました。このタブレット端末は各学年の発達段階にに応じて使用することで、学習の手助けとなるものです。

主に使用しているのはドリルパークなどの学習支援ソフトや写真や動画の撮影に使うカメラ機能、グーグルなどの検索エンジンです。以上のような機能を使い、児童一人一人が授業に取り組んでいます。

しかし、タブレット端末は便利な反面、使用には細心の注意を払わなければなりません。現在、端末の様々なトラブルが起こっています。ご家庭でも以下に示す注意点を守っていただければと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

① 学校に持ってくる際は充電をしておくこと。

② 各家庭にある無線LANへの接続はお止めください。ドングルの故障につながります。

③ 使用後はスリープではなくシャットダウンをしてください。

④ 個人情報保護の観点から、児童のアカウント以外のタブレット端末へのログインはお止めください。また、配布された端末以外で児童のアカウントへのログインもお止めください。